

トンネル内の火災加熱条件（RABT曲線）で耐火性能を検討する技術です。

DX関連

設計・解析

自動化・機械化

遠隔施工

安全性向上

コンクリート

環境関連

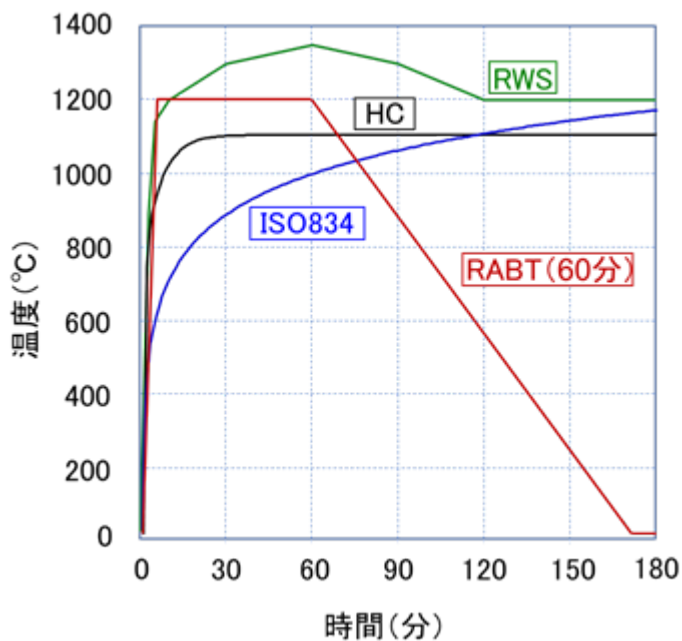
維持管理

お客様のメリット

- 実規模試験体でトンネル火災を想定した急速加熱を行い、トンネル構造体等の耐火性能を検討できます。
- 20MN載荷試験装置等の併用により、加熱と載荷を同時に実施できます。

技術の特徴

国内民間初のトンネル火災加熱に対応した大規模（加熱面積3m×3m）耐火試験施設です。



RABT加熱温度曲線



耐火試験施設



試験体のセットアップ

実績・事例

- 秋田中央道路、中央環状品川線のRCセグメント耐火性能検証試験
- エヌ・ティ・ティ・インフラネット（株）殿委託加熱試験
- R C構造、コンクリート充填鋼殻構造等、各種試験体の急速加熱実験（社内研究）
- 東海北陸自動車道（NEXCO中日本殿）耐火RCライナー耐火性能検証実験



▲プレスリリースはこちら